



2022年度

福井県立武生高等学校

同窓会総会

日 時 令和4年5月28日(土) 14:00
(総会・特別講演会)

場 所 ホテルクラウンヒルズ武生

沿革

（旧制 県立武生中学校）

明治31年 3月 1日 福井県立武生尋常中学校創設
 明治32年 4月 1日 福井県武生中学校と改称
 明治34年 6月 12日 福井県立武生中学校と改称

（旧制 県立武生高等女学校）

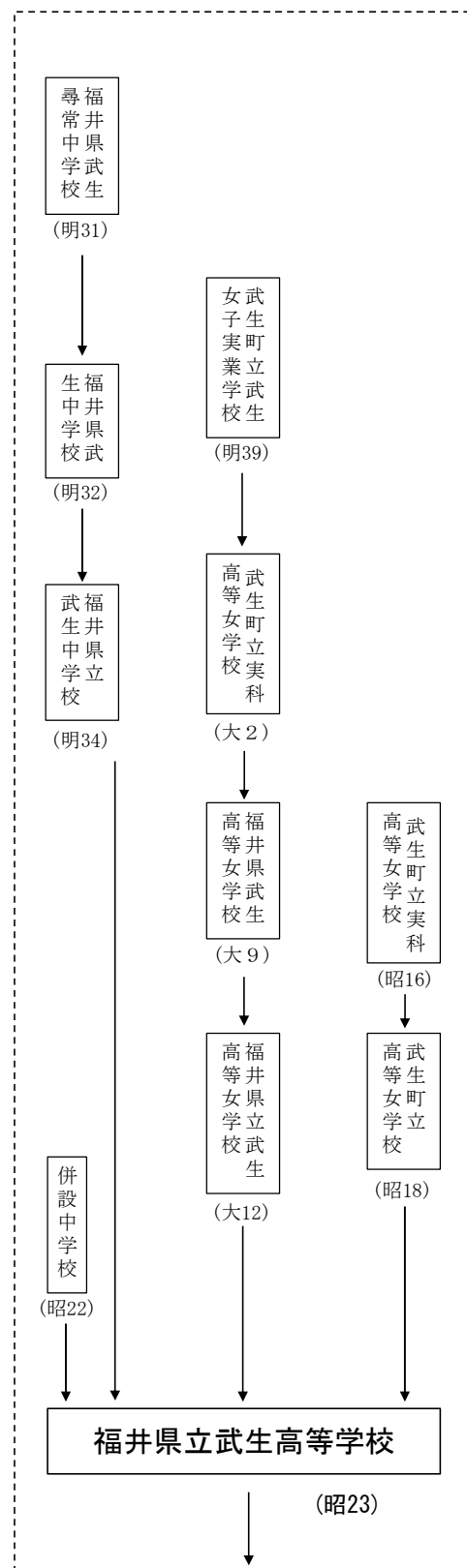
明治39年 6月 9日 武生町立武生女子実業学校創設
 大正2年 2月 27日 武生町立実科高等女学校と改称
 大正9年 3月 10日 福井県武生高等女学校と改称
 大正12年 4月 1日 福井県立武生高等女学校と改称

（旧制 町立武生高等女学校）

昭和16年 4月 21日 武生町立実科高等女学校認可
 昭和18年 4月 1日 福井県武生町立高等女学校と改称

（福井県立武生高等学校）

昭和23年 4月 1日 学制改革により福井県立武生中学校、福井県立武生高等女学校、福井県武生町立高等女学校を統合し、福井県立武生高等学校に改組し、普通・家庭・商業・工業の4課程を設定
 定時制（本校・池田分校・今庄分校および栗田部分校）を併設
 昭和30年 4月 1日 新校舎第1期工事完成、現在地に移転
 昭和34年 4月 1日 工業課程は武生工業高等学校として分離独立
 昭和35年 11月 1日 新校舎工事完成、落成式挙行政
 昭和38年 5月 8日 プール開き挙行政
 昭和40年 4月 1日 武生商業高等学校新設に伴い商業科募集停止
 昭和40年 4月 1日 定時制池田分校は全日制池田分校となる
 昭和40年 5月 30日 第二体育館落成式挙行政
 昭和42年 10月 30日 生徒指導実験学校研究発表会を行う
 昭和43年 11月 1日 創立70周年記念式を行う
 昭和44年 4月 1日 理数科設置
 昭和44年 7月 19日 創立70周年記念館落成式
 昭和53年 11月 1日 創立80周年記念式を行う
 昭和55年 12月 23日 普通教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和57年 11月 24日 特別教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和59年 3月 31日 音楽教棟完成
 平成3年 3月 31日 本館・第1体育館リフレッシュ工事、正門並びにシンボル・ガーデン完成
 平成4年 1月 31日 定時制教棟改築着工
 平成4年 10月 31日 定時制教棟完成
 平成5年 3月 20日 弓道場完成
 平成5年 12月 27日 第2体育館リフレッシュ工事完成
 平成7年 4月 1日 定時制課程単位制設置
 平成10年 11月 1日 創立100周年記念式を行う
 平成10年 11月 6日 葵講堂完成
 平成12年 3月 31日 生徒会館（記念会館）リフレッシュ工事完成
 平成15年 2月 10日 第1教棟耐震補強工事完成、第1体育館改築着工
 平成15年 10月 31日 第1体育館完成
 平成18年 2月 14日 第2体育館完成
 平成20年 4月 9日 平成20～24年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成25年 4月 1日 平成25～29年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成30年 4月 1日 平成30～34年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける
 令和2年 3月 31日 池田分校閉校
 令和2年 4月 1日 探究進学科設置
 令和4年 3月 1日 理数科閉科



武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、越智の高嶺の彼方には

波幾千里日本海

異の空に仰ぎ見る

御嶽の山は巍峨として

その秀嶺の影ひたす

日野の流れの清きかな

二、星霜経りし国府の跡

功は高き藤垣や

三つの川水治めけむ

君味真野の宮所

杣山松を吹く風は

忠義にはやる矢叫びか

三、栄ある歴史偲びつゝ

紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に

知徳をみがく五春秋

朝日とのぼる向上の

誰百難に屈せむや

四、赤帝焰を息吹く時

熱球宙を飛ぶところ

朔風雪をふぶく時

竹刀火花の散るところ

血潮はわきて青春の

男児の腕高鳴れる

五、嗚呼東海に覇を唱ふ

国をになはむ任重く

母校の誉世の光

かゞやかすべき南越を

健児はわれぞ芳ばしく

咲かむ万朶の山桜

武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

一、男大迹の皇子のおはしけむ

ゆかりたふとき道の口

武生の国府と名に立ちて

文化の花も先づ咲きし

昔の跡に開けたる

まなびの園の名もよしや

二、忠義に燃ゆる杣山の

紅葉の色をかざしにて

越前富士に積む雪の

清きを己が心にて

日野の川波絶えずのみ

勉め励まんいざやいざ

三、後の宮の詠みましし

御歌の意かしこみて

人の中にもをみなたる

道の誠をみがきつつ

家を身をもとのへて

千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

一、都に遠く雲閉す

日野の盆地と云ふ勿れ

山河穢れず人怜く

若人の夢みな清し

二、武生の国府とうたはれし

代々の文化のあとを見よ

史上に残る名に富むを

郷土のほまれ誰か継ぐ

三、味真野の子や丹生の子の

学びに集ふ二千人

校舎あかるく庭ひろく

朋友師弟 睦しき

四、いかにか生くと人間はば

我は明朗自律の児

まことを求め道に生き

世に尽さんと答へまし



ご 挨拶

同窓会会長 玉村 一 男 (昭和42年卒)

武生高等学校同窓会の皆様、この度、私は同窓会理事会のご承認を頂き、令和4年～5年度同窓会会長を拝命いたしました。124年の歴史と伝統ある武生高等学校の同窓会ですので、諸先輩を始め皆様のご協力を頂いて同窓会の更なる発展に全力を尽くして参る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

今回の同窓会総会は3年ぶりの開催となり、会員の皆様とお会いするのを楽しみにしていました。本年は坂野正仁様を実行委員長とする昭和59年、60年卒の2学年の同窓生の実行委員会の皆様により総会、講演会が開催されることになりました(残念ながら懇親会は中止)。

新型コロナウイルス感染防止対策として、福井県感染拡大特別警報、感染拡大警報と延長している状況下での準備活動は大変であったことと思います。そのような中で、綿密な準備をされました実行委員会の皆様に改めて心より御礼申し上げます。本日、こうして久しぶりに皆様と一堂に顔を合わせての総会開催、加えてオンラインでも参加できるハイブリッド方式での総会の開催は本当に嬉しい限りです。これからもハイブリッド方式の総会の開催は主流になっていくことでしょう。本日は関東支部、関西支部、石川県支部、東海支部の会員の皆様や、多くの全国の同窓生の皆様もオンラインで参加されています。皆様、多いに盛り上げて総会・講演会を成功させましょう。

さて、武生高等学校につきましては、昭和44年に設置された理数科は51年の歴史を紡ぎ、2,000余名の卒業生を送り出しましたが、令和4年3月に閉科となり、令和2年4月より探究進学科が新設されました。探究進学科は理数科を更に進化させた令和時代に相応しい先進的な学科とのことです。同窓会としても大いに期待をしているところです。

武生高等学校は明治31年に福井県立武生尋常中学校に始まり、本年は創立124年を迎えます。6年後の令和10年には創立130周年の年となり、同窓会としては創立130周年記念事業を行うことを決定しました。どのように事業を行うかはこれから決めていくこととなりますが、皆様の絶大なるお力をお借りして皆様と一緒に進めていく所存です。同窓会の皆様、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

これからも暫らくはコロナ禍の状況は続き、ウクライナの緊迫した情勢も長引きそうで、何かとストレスの多い日々になりそうですが、同窓会の皆様におかれましては会員相互の交流や親睦活動が活発になり、令和4年度が皆様にとって良い年でありますようにご祈念申し上げます。最後になりましたが、これからも武生高等学校には優秀な生徒が集まり、育ち、そして巣立って行くと共に、本校が地域の皆様からも愛され、魅力に溢れる高校であり続けますことを心から祈念致しまして、総会のご挨拶とします。



ご挨拶

学 校 長 島 田 芳 秀

本日、2022年度武生高等学校同窓会総会が開催されますことを、心からお祝い申し上げます。日ごろは会長の玉村一男様をはじめ、役員・理事の方々、同窓会員の皆様方には、多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

本校は、今年度、武生尋常中学校創設から数えて124年を迎えます。これまでに卒業された4万6千人を超える皆様方は、県内はもとより全国各地、さらには国際社会においても政治・経済や科学技術、教育や医療福祉など社会のさまざまな分野で輝かしい業績を上げられています。在校生たちにとっても、卒業生の皆様方の活躍が励みとなり、目標となっています。

今年3月には、半世紀を超えて優秀な人材を輩出してまいりました理数科の閉科式が行われました。理数科は閉科しましたが、理数科のこれまでの多くの成果を引き継いで、地域をリードし国際社会に貢献できる科学技術系人材の育成を目指して取り組んでまいります。

さて、現在の本校の現状について申し上げます。全日制には907名、定時制には127名の合計1,034名の生徒が在籍しています。また、世界や地域と繋がる多様な探究活動を実施しながら、難関大学・医学科を目指して新設された探究科の1期生は、来年3月に卒業を迎えます。

今春の進学実績としては、勉学と部活動を両立させながら、国公立大学全体で203名が合格しました。全日制の部活動では、山岳部が、男子・女子ともに全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場し、北信越高等学校総合体育大会には、男子・女子ともにソフトテニス部、女子バドミントン部、陸上部、弓道部、柔道部、山岳部が出場しました。また、将棋部、百人一首かるた部、メディア文芸部、アート美術部が全国高等学校総合文化祭に出場しています。定時制では、男子バスケットボール部が県定通大会で準優勝し、県定通連合文化祭では、被服手芸部門で最優秀金賞を受賞しました。学校の学習環境の整備も進み、生徒玄関や第1号棟の3年生教室は、木のぬくもりがある素晴らしい校舎となりました。1,2年生の校舎も順次、リノベーションが進んでいきます。

今年度も武生高等学校では、同窓会会員の皆様のご期待に添えるよう、これまで受け継がれてきた伝統と文化を尊重し大切にしながら、変化する時代に合わせた教育を実践し、生徒一人ひとりの夢の実現に向けた教育活動に取り組んでまいり所存です。

最後になりますが、本年度の総会開催に対してご尽力いただいた昭和59年卒業の皆様方と昭和60年卒業の皆様方にお礼を申し上げますとともに、会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈りしまして、ご挨拶とさせていただきます。

2022年度 武生高等学校同窓会総会 次第

5月28日（土）

14:00～14:50

総 会 （於：3階 平安の間）

1 開会のことば 実行委員長 坂 野 正 仁

2 物故者に対する黙とう

3 同窓会会長挨拶 玉 村 一 男 氏

4 学 校 長 挨 拶 島 田 芳 秀 氏

5 議 事

（1）令和3年度事業報告

（2）令和3年度決算報告

令和3年度会計監査報告

（3）役員改選

（4）令和4年度事業計画案審議

（5）令和4年度予算案審議

（6）同窓会入会金の値上げ（案）について

（7）同窓会名簿の発行について

（8）130周年記念事業について

（9）その他

6 報 告 事 項

(1) 支部報告

(2) 同窓会事務局（部屋）について

(3) (一社) 武高 3 7 オレンジーズ 事務局より

7 閉会のことば 副実行委員長 中 村 忠 嗣

15:00～16:00

特別講演 (於：3 階 平安の間)

「 日 本 酒 の 話 」 ～作り方から飲み方まで～

片山酒造（株）代表

片 山 達 夫 氏（昭和 59 年卒業）

丹生酒造（株）営業

嶋 田 明 美 氏（昭和 59 年卒業：旧姓高橋）

令和3年度 事業報告

令和3年

4月 6日（火）	会計監査	武生高校 葵講堂 会議室
4月16日（金）	第1回役員会、理事会	武生商工会館
5月25日（火）	同総会報 第50号発行	
7月13日（火）	臨時役員会	武生高校 葵講堂 会議室
10月22日（金）	第2回役員会、理事会	武生商工会館
12月24日（金）	臨時役員会	武生高校 葵講堂 会議室

【中止】 同窓生講演会（生徒対象）
同窓会総会、特別講演会、パーティー

令和4年

3月15日（火） 全日制 卒業式（同窓会入会）
〃 理数科閉科式
定時制 卒業式（同窓会入会）

◇ 各支部総会

関東支部総会	【中止】
関西支部総会	【書面開催】
石川県支部総会	【中止】
東海支部総会	【中止】

令和3年度 武生高等学校同窓会会計 収支決算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増減	備 考
繰 越 金	1,704,808	1,704,808	0	
入 会 金	1,020,000	1,005,000	△ 15,000	全日制318、定時制17(1名3,000円)
雑 収 入	92	14	△ 78	預金利息
寄 付 金	0	70,000	70,000	役員より
合 計	2,724,900	2,779,822	54,922	

【 支 出 】

項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増減	備 考
会 議 費	150,000	110,488	△ 39,512	理事会(2回)会場使用料 他
旅 費	300,000	0	△ 300,000	
消 耗 品 費	5,000	49,272	44,272	事務局FAX電話機購入代、インク、用紙 他
通 信 費	130,000	107,987	△ 22,013	電話使用料、各種郵送料、インターネット利用料 他
慶 弔 費	20,000	0	△ 20,000	
事 務 費	20,000	20,000	0	事務手当
支 部 補 助 費	311,000	312,020	1,020	関東・関西10万、石川・東海5万、定時8,500円 振込手数料
母 校 振 興 費	0	0	0	
積 立 金	0	0	0	
予 備 費	1,788,900	102,560	△ 1,686,340	記念会館2F修繕費、記念会館補助5万
合 計	2,724,900	702,327	△ 2,022,573	

令和3年度収入合計 2,779,822 円

令和3年度支出合計 702,327 円

令和4年度への繰越金 2,077,495 円

同窓会資産

単位:円

一 般 会 計	普通預金	2,077,495
特 別 会 計	定期預金	17,415,284
同 窓 会 会 報 会 計		1,543,069
合 計		21,035,848

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

令和4年4月5日

監 事 三村 昌之

監 事 松浦 宏由

令和3年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計 収支決算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

会報会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増減	備 考
繰 越 金	1,406,427	1,406,427	0	
令 和 3 年 度 生 本 校 卒 業 生	477,000	477,000	0	1,500円×318人
新 規 購 読	0	0	0	
雑 収 入	3	9	6	預金利息
合 計	1,883,430	1,883,436	6	

【 支 出 】

項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増減	備 考
会 報 発 行 費	350,000	340,367	△ 9,633	会報印刷・発送代、振込手数料
積 立 金	0	0	0	
残 高 証 明 料 発 行 手 数	520	0	△ 520	
予 備 費	1,532,910	0	△ 1,532,910	
合 計	1,883,430	340,367	△ 1,543,063	

令和3年度 収入合計 1,883,436 円

令和3年度 支出合計 340,367 円

令和4年度への繰越金 1,543,069 円

《内訳》

普 通 預 金 1,451,717 円

振 替 口 座 91,352 円

計 1,543,069 円

令和4年度 事業計画(案)

令和4年

4月 5日(火)	会計監査	(武生高校 応接室)
4月23日(土)	第1回役員会、理事会 生徒会館見学会	(武生高校 葵講堂)
5月27日(金)	同窓生講演会〔生徒対象〕	(武生高校)
5月28日(土)	同窓会報 第51号発行 2022年度 同窓会総会・特別講演会・〔パーティー無し〕	(ホテルクラウンヒルズ武生)
10月21日(金)	第2回役員会、理事会	

令和5年

3月 初旬	全日制卒業式(同窓会入会) 定時制卒業式(同窓会入会)
-------	--------------------------------

各支部総会

関東支部総会	未定
関西支部総会	未定
石川県支部総会	未定
東海支部総会	未定

令和4年度 武生高等学校同窓会会計 予算書 (案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和4年度予算	備 考
繰 越 金	2,077,495	前年度繰越金
入 会 金	993,000	全日300, 定時31 (1名3,000円)
雑 収 入	5	利息等
寄 付 金	0	
合 計	3,070,500	

【 支 出 】

項 目	令和4年度予算	備 考
会 議 費	150,000	理事会(4月、10月)
旅 費	300,000	関東・石川・東海支部総会、各支部来福旅費
消 耗 品 費	5,000	事務用品等
通 信 費	130,000	電話料、郵送料、HP年間維持管理料
慶 弔 費	20,000	
事 務 費	20,000	事務手当
支 部 補 助 費	315,500	関東・関西 10万、石川・東海 5万 定時@500×31人
母 校 振 興 費	200,000	武生高校広報費
積 立 金	400,000	特別会計(定期預金)へ
予 備 費	1,530,000	記念会館補助等
合 計	3,070,500	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください

令和4年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計 予算書（案）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

会報会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和4年度予算	備 考
繰 越 金	1,543,069	前年度繰越金
令和3年度本校卒業生	450,000	1,500円×300名(全日制)
新 規 購 読	0	
雑 収 入	31	利息
合 計	1,993,100	

【 支 出 】

項 目	令和4年度予算	備 考
会 報 発 行 費	350,000	同窓会会報(5月発行) 印刷、発送代
積 立 金	0	
残高証明発行手数料	550	振替口座残高証明
予 備 費	1,642,550	
合 計	1,993,100	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください

(6) 同窓会入会金の値上げについて→会則の改正

会則 第6章 会計及び資産

第18条

＜現行＞ 本会の入会金は 3,000 円 とする。

↓

＜改正＞ 本会の入会金は 4,000 円 とする。

第8章 補則

第21条

＜現行＞ 本会則は平成6年4月1日に改正し、即日これを施行する。

↓

＜改正＞ 本会則は 令和5年4月1日 に改正し、即日これを施行する。

※ 令和5年度(令和6年3月卒)卒業生からの運用となります。

(7) 同窓会名簿の発行について

① 名簿仕様

- ・ A4版／「上製本」または「並製本」
- ・ 940頁（総頁数）予定。
- ・ 前回の名簿を基に、業者【（株）サルト】〔※〕に依頼。

これまで 〔※〕 から4回発行している。

第1回発行＝昭和61年

第2回発行＝平成3年

第3回発行＝平成8年

第4回発行＝平成14年

②発行時期

- ・ 令和5年10月発行（予定）

③作成経費

- ・ 全ての経費は、名簿販売収入、広告収入、名簿作成賛助金収入によって賄う。
- ・ 同窓会からの経費負担は一切無し。（上記収入が予定に満たなくても同様）

④発行方法

- ・ 業者〔※〕が全作業を一括代行する。
（動向調査、編集、校正、印刷、発送、販売、広告・賛助金収集、代金回収）

⑤頒価（予定）

- ・ 4,300円「上製本」または、3,900円「並製本」
（送料・消費税・振込手数料を含む）

⑥発行予定部数

・ 2, 8 0 0 冊	
会員への予約販売部数	2, 3 3 0 冊
広告主への贈呈	1 2 0 冊
賛助金申込者への贈呈	3 0 0 冊
同窓会への無料贈呈	5 0 冊

⑦収入予定金額（業者〔※〕の見込み）

・ 会員への名簿販売収入	1 0, 0 1 9, 0 0 0 円
・ 広告掲載収入	3, 6 0 0, 0 0 0 円
・ 名簿作成賛助金収入	3, 0 0 0, 0 0 0 円
合 計	1 6, 6 1 9, 0 0 0 円

⑧同窓会の収入

＊名簿販売・広告収入・賛助金の収入総額が、1, 6 6 0 万円を超過した場合には、超過額の50%を同窓会に還元する。（業者〔※〕より）

⑨データメンテナンス

- ・発行後、9年間は会員データ管理が無料。（業者〔※〕）
（備考：H18より「会員データ管理業務委託契約書」を締結、毎年更新中。）

【データ管理の内容】

- ◇ 年1回の新規会員の登録
- ◇ 同窓会より提出される会員情報の追加訂正指示の処理
- ◇ 市町村合併に伴う、住所表示の変更などのデータクリーニング

（8）130周年記念事業の内容について

- ☐ 実行委員会（組織）
- ☐ 規約
- ☐ 資金募金要項
- ☐ 式典
- ☐ 祝賀会
- ☐ 記念誌
- ☐ 事業（生徒会館）

令和4年度武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

2022/4月現在

役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次
会 長	◎ 玉 村 一 男	42	理 事	松 井 透	43	理 事	帰 山 明 朗	58
副会長	◎ 上 木 義 晴	45	〃	森 山 明	43	〃	時 田 和一良	58
副会長	◎ 笠 原 章	45	〃	杉 本 はじめ	44	〃	宮 本 俊	58
副会長	◎ 酒 井 郁 江	52	〃	栗 塚 俊 夫	46	〃	◎ 坂 野 正 仁	59
副会長	◎ 田 中 大 成	53	〃	藤 木 茂 之	46	〃	平 林 透	59
副会長	◎ 平 山 勝 康	55	〃	五十嵐 公 二	47	〃	森 中 裕 信	59
会 計	◎ 井 上 和 治	44	〃	宗 近 博 之	47	〃	中 村 忠 嗣	60
監 事	◎ 三 村 昌 之	48	〃	◎ 佐 藤 かよ子	47定	〃	笹 田 和 子	60
監 事	◎ 松 浦 宏 由	51	〃	白 崎 弘 康	48	〃	仲 倉 典 克	61
理 事	岸 本 輝 夫	28分	〃	上野谷 譲 二	49	〃	是 広 憲 一	61
〃	◎ 堀 婦佐子	30	〃	加 藤 明 之	49	〃	月 岡 幹 雄	62
〃	◎ 吉 田 勉	31	〃	岡 田 武 廣	50	〃	石 川 純 也	63
〃	◎ 鎌 谷 慶 昭	32	〃	関 孝 夫	50	〃	武 藤 英 樹	63
〃	◎ 堀 川 利 彦	32	〃	田 中 康 和	50	〃	渡 辺 和桂子	63
〃	小 川 康 子	33	〃	加 藤 団 秀	51	〃	柴 田 吉 信	H01
〃	◎ 岩 堀 真理子	35	〃	河 嶋 衛	51	〃	西 出 博 俊	H01
〃	◎ 山 田 洋 三	35	〃	賀 川 典 明	52	〃	高 野 祐 一	H01
〃	◎ 河 合 敏 一	36	〃	長谷川 和 弘	53	〃	塩 田 憲 康	H02
〃	◎ 香 川 克 子	37	〃	◎ 脇 田 昇 治	53	〃	藤 井 信太郎	H02
〃	齊 藤 敏 機	37	〃	上 野 浩 一	54	〃	宮 本 理	H02
〃	山本 仁左衛門	37	〃	野 田 義 弘	54	〃	石 本 郁 夫	H03
〃	西 山 克 美	38	〃	坂 口 順 一	55	〃	塚 崎 嘉 彦	H04
〃	谷 尾 清 隆	39	〃	新 高 嶋 敏 郎	55	〃	土 田 康 博	H04
〃	笠 島 賢一郎	40	〃	奈 良 俊 幸	56	〃	中 野 嘉 昭	H05
〃	上野谷 憲 示	40	〃	萬 谷 宏 治	56	〃	門 口 正 人	H05
〃	石 田 正 人	41	〃	吉 村 文 男	56	〃	高 橋 愛 子	H06
〃	清 水 花 子	41	〃	◎ 杉 本 正 一	57	〃	畠 広 文	H06
〃	宇 野 一 右	42	〃	加 藤 幸 紀	57	〃	服 部 正 秀	H06
〃	笹 川 信 一	42	〃	村 上 栄 樹	57	〃	田 村 隼 人	H07
◎は常任理事						〃	福 岡 義 邦	H07

各支部

顧 問

事務局

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次
関東支部長	◎ 小 倉 征 彦	37	前 会 長	三田村 俊 文	31	書記会計	服 部 英一郎	60
関西支部長	◎ 三 好 規 雄	41	学 校 長	島 田 芳 秀		調 査	水 出 寿 一	
石川県支部長	◎ 江 端 義 幸	44	教頭(全日制)	磯 野 和 之		調 査	的 矢 俊 昭	51
東海支部長	◎ 馬 場 文 雄	42	教頭(定時制)	為 国 順 治		調 査	伊 藤 裕 貴	61
◎は常任理事						調 査	竹 内 健	62
						調 査	栗 田 仁 恵	H02
						会 計	山 本 真 司	56

校内理事

分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
調 査	盛 高 宏 嗣	52	調 査	野 村 晶 彦	62	調 査	小 松 めぐみ	H05
〃	林 亨	56	〃	林 昭 彦	62	〃	辻 崎 千 尋	H06
〃	水 嶋 勝 彦	56	〃	宗 近 浩 憲	63	〃	高 芝 和 紀	H07
〃	酒 井 哲 弥	57	〃	松 村 剛	H02	〃	野 村 幸 史	H10
〃	辻 川 広 也	58	〃	塚 崎 寛	H02	〃	板 垣 洋 美	H11
〃	上 木 俊 哉	61	〃	西 口 佳 光	H03	〃	福 島 健一郎	H14
〃	宇 野 智 子	62	〃	木 原 大 彰	H04	〃	田 中 里 奈	H16
〃	木 原文 一	62	〃	田 中 寛 人	H04	〃	橋 本 洋 平	H18
〃	鈴 木 秀 人	62						

武生高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。
- 第3条 本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 母校の教育向上のための協力
 3. その他前条の目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は正会員と特別会員の2種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。

- 正会員
1. 旧武生中学校の卒業生
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
 3. 旧武生高等学校併設中学校の卒業生
 4. 武生高等学校の卒業生
 5. 前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者
- 特別会員
1. 旧武生中学校の職員
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
 3. 旧武生高等学校併設中学校の職員
 4. 武生高等学校の旧職員及び現職員

第4章 役員及び顧問

- 第7条 本会に次の役員を置く。
1. 会 長 1名
 2. 副会長 5名
 3. 常任理事 若干名
 4. 理 事 若干名
 5. 会 計 1名
 6. 監 事 2名
 7. 顧 問 若干名
- 第8条 役員の選任は次の通り行う。
1. 会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
 2. 常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選び、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
 3. 理事は卒業年次ごとに1～2名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
 4. 監事は理事の中から会長が委嘱する。
 5. 顧問は理事会、総会の承認を得て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

- 第9条
1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務（財務、総会、会報、名簿など）に分担して参与する。
 3. 常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
 4. 理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
 5. 監事は会計及び資産状況を監査する。
 6. 顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。
- 第10条 役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

第5章 会 議

- 第11条 本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。
- 第12条 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。司会は出席者の中から選ぶ。
- 第13条 総会で審議する事項は、次の通りである。
1. 会長、副会長の選出
 2. 常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
 3. 決算及び会務・事業報告
 4. 予算案及び事業計画案
 5. その他必要な事項
- 第14条 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。
- 第15条 理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の3分の1以上の出席者がいなければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。
1. 総会に付議すべき事項
 2. その他の必要な事項

第6章 会計及び資産

- 第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第17条 本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれに充てる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。
- 第18条 本会の入会金は3,000円とする。
- 第19条 本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に共してはならない。

第7章 会 則 の 変 更

- 第20条 本会則は理事会の承認を経て、総会の議決をえれば改正することができる。

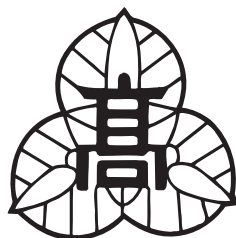
第8章 補 則

- 第21条 本会則は平成6年4月1日に改正し、即日これを施行する。

2022 年度 武生高等学校同窓会総会実行委員会

		昭和 5 9 年卒業	昭和 6 0 年卒業
実 行 委 員 長		坂野 正仁 【7 組】	
副 実 行 委 員 長		平林 透(総務/会計) 【6 組】 森中 裕信(協賛) 【7 組】	中村 忠嗣(企画/運営) 【5 組】
監 事		権八 康生(運営) 【7 組】	佐々木 直哉(会計) 【5 組】
事 務 局 長			笹田(上田)和子 【2 組】
会 計 長		谷口 和之 【9 組】	
企 画 運 営 担 当 役 員			岩堀 嘉郎 【5 組】 田中 了太 【5 組】
協 賛 金 担 当 役 員		小泉 博昭 【2 組】	
ク ラ ス 員 委	1 組	今村 憲和 島田(前田)るみ子	嶺山 秀法
	2 組	加畑(笠原)重樹 矢野 領一	竹生(五十嵐)知子 齋藤(木村)恵子
	3 組	北野(吉田)るみ 松村(佐々木)典子	橋本 達昌 深尾(佐々木)美樹
	4 組	玉村 淳一	棟田 雅己 仲下 雅代
	5 組	久島 晋 近藤 雅樹	古村 佳史 田中 秀逸
	6 組	森川(坂川)明美 吉村 嚇子	千秋 佳徳 山本 陽一郎
	7 組	小林 英典 白崎 健治	熊野 善明 佐々木 富代
	8 組	島田 英和 三浦(山口)知子	岩野 雄一 田邊(佐々木)みちよ
	9 組	村田 健 前田 実継	田中 秀幸 山本 英之

※順不同、()は旧姓



2022年度
福井県立武生高等学校
同窓会総会実行委員会

武生高等学校同窓会

URL <http://www.buko-dosokai.com>
E-mail jimukyoku@buko-dosokai.com
(事務局)

2022年度
武生高等学校同窓会総会
令和4年5月

発行責任者	坂野 正仁
編集責任者	総会実行委員会事務局
印 刷	株式会社 大沢印刷